

オオムギ赤かび病の適期防除を！

赤かび粒は、0.0%を超えて(10,000粒中に5粒)混入すると規格外になります。赤かび病はムギの開花期頃に高温多雨で多発し、本年4月の気温は高く降雨は平年並みの予想で、注意が必要です。3月の低温で遅れていたものが、高温でいっさに早まる可能性があるため、出穂・開花状況を確認し適期に防除しましょう。

1 防除時期

1 回目は出穂5日後の開花始期

2 回目は1回目の10日後

必ず2回防除を行いましょう

赤かび病被害(穂と粒)

被害部はサーモンピンクで表面は粉っぽい。

- ムギの開花状況をこまめに確認し、防除が遅れないようにする
- 液剤のほうが粉剤より効果が高くなる。粉剤は朝露で穂が湿っている早朝に散布すると効果が高い
- 希釈倍数をまもり、十分な量を散布する
- 薬剤耐性菌の発生を防ぐため、1回目と2回目の薬剤を変える(RACコードを確認)

2 防除薬剤

薬剤名 (RACコード)	作物名	希釈倍数	使用量	使用時期	使用回数	使用方法
トップジンM粉剤DL (1)	麦類(小麦を除く)		4kg/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
トップジンM水和剤 (1)		1,000～1,500倍	60～150L/10a	収穫30日前まで	(出穂期以降は1回以内)	散布
トップジンMゾル (1)		無人ヘリ8倍	0.8L/10a	収穫21日前まで		無人航空機による散布※
トリフミン水和剤 (3)	麦類	1,000～2,000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
ストロビーフロアブル (11)	麦類(小麦を除く)	2,000～3,000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布
チルト乳剤25 (3)	大麦	1,000～2,000倍	60～150L/10a	収穫21日前まで	1回	散布
		無人ヘリ8倍	800mL/10a			無人航空機による散布※
ワークアップ粉剤DL (3)	麦類		3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布
ワークアップフロアブル (3)		無人ヘリ10～24倍	0.8L/10a			無人航空機による散布※
シルバキュアフロアブル (3)	大麦	2,000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布
		無人ヘリ16倍	0.8L/10a			無人航空機による散布※
ミラビスフロアブル (7)	大麦	1,500～2,000倍	60～150L/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布
		無人ヘリ8～16倍	800mL/10a			無人航空機による散布※

※ 無人航空機とは無人ヘリおよびドローンのことを指します

令和6年度農作物病害虫防除指針(福井県)が県HPから閲覧できます

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>◇◇◇ 最新の農業登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

福井県病害虫防除室

連絡先: 0776 (54) 9315

<http://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>

QRコードをスキャンしてください→

